

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営の基本方針

安心・安全で良質な商品と心を感じるサービスにより、お客様満足を追求し、豊かな食生活に貢献する

連結自己資本配当率
1.0%

2 中長期の経営戦略

1. 集荷力の強化

計画的な訪問による情報共有で効率的な集荷体制を構築。神奈川県内漁協との連携強化で取扱量増加と差別化を図る

3. 販売力の強化

鮮魚加工強化、養殖事業者との連携、ECサイト販売、地場魚販売強化により顧客満足度向上と関係性構築

2. 海外取引の強化

水産物消費が増加している海外市場で販売に強みを持つ企業とのパートナーシップにより、優れた商品力を武器に販売を強化

4. 人事制度のリニューアル

人口構造変化対応として、多様な人財の採用と教育を促進し、活気ある企業継続を実現

3 対処すべき課題

① 水産物漁獲量減少への対応

- ・地球沸騰化による漁場変化で集荷競争が激化
- ・海外需要拡大による買い負けの懸念
- ・市場流通量減少への対応

② 外部環境への対応

- ・内食関連需要は物価高騰の影響が継続
- ・トランプ関税による世界貿易戦争拡大の懸念
- ・為替乱高下による円高がインバウンドに影響

③ 消費者ニーズへの対応

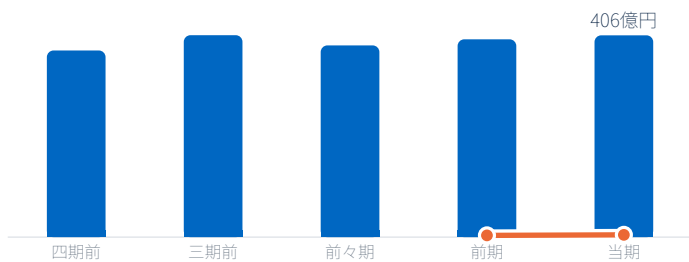
- ・食の安全安心への要望に対応
- ・健康意識の高まりへの対応
- ・付加価値を付けた加工業務推進

面接で使えるポイント

- ・中期経営計画『横浜丸魚グループ中期経営計画2023～Rebirth～』で集荷力・海外取引・販売力強化に注力
- ・SDGs・ESGの視点を取り入れ、資源保護と水産物安定供給を両立させる経営姿勢
- ・神奈川県内漁協との連携強化により、他市場との差別化と地場魚販売を推進

証券コード 8045

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
406億円営業利益率
1.1%財務健康度
34点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 45.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収

663万円

卸売業内 162位/282社

平均年齢

43.2歳

卸売業内 111位/283社

平均勤続

17.7年

卸売業内 31位/282社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 横浜丸魚(株)【8045】：決算情報

